



お月見

秋の夜、美しい月をながめよう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

お月見を知る	3～4
お月見の行事	5～8
月をめぐる文化	9～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

お月見ってなに？

お月見とはどんな行事か、まず知しましょう。

お月見とは、秋の夜に美しい月をながめて楽しむ、日本に古くから伝わる行事です。

月を見ながら、実りの秋への感謝や、これからの健康・豊作への願いをこめる習わしとして親しまれてきました。



お月見にまつわるもの

満月

月見だんご

すすき

秋の七草

どれも、お月見の夜に欠かせないものとして親しまれています。

ポイント

- お月見は、主に旧暦8月15日ごろの夜に行われます。
- 地域や家庭によって、お月見の祝い方はさまざまです。

やってみよう

- お月見と聞いて思いうかべるものを1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

お月見には、十五夜と十三夜という2つの日があります。

じゅうごや / jūgoya

じゅうさんや/jūsan'ya

4

中秋の名月とよばれる、特別な月について学びましょう。

年によって、太陽暦（今のカレンダー）では9月中旬から10月上旬ごろにあたります。



- 「中秋」とは、秋（7～9月）のちょうど真ん中という意味です。
- 満月と重なるとはかぎらず、1～2日ずれることもあります。

1. 今年の中秋の名月がいつか、調べてみよう。

秋の七草や、お供えものの意味を知りましょう。

秋の七草や、お供えものの意味を知りましょう。

萩

すすき

くず

なでしこ

おみなえし

ふじばかま

桔梗

秋を代表する7種類の草花で、お月見にも関わりがあります。

- 秋の七草は、食べるのではなく、見て楽しむ草花です。
- お供えものには、実りへの感謝と、これからの健康や豊作への願いがこめられています。

1. 秋の七草の中で、知っているものを1つ書こう。

月にうさぎがいるといわれる、昔からの話を知りましょう。

この話の元には、うさぎが自分の身を差し出して老人（神様）を助けたという昔話があるといわれています。



- 月の模様の見え方には、国や地域によってさまざまな言い伝えがあります。
- 昔話は、地域によって少しずつ内容がちがうことがあります。

1. 月の模様は、あなたにはどんな形に見えますか。

9

月の呼び名・月と和歌

月には、たくさんの美しい呼び名やことばがあります。

月の呼び名の例

三日月

満月

居待月

有明の月

月が出る時刻や形によって、さまざまな呼び名がつけられています。

ポイント

- 昔の人々は、月を見ながら和歌をよみ、その美しさや思いを表現しました。
- 月にまつわることばの多さは、日本人が月をどれほど大切にしてきたかを表しています。

やってみよう

1. 知っている月の呼び名を1つ書こう。

書いて覚えよう

月と日本の絵・地域のお月見

絵画や地域の風習の中にも、お月見の文化が見られます。

月がえがかれた作品

浮世絵や日本画には、月をながめる人々や、すすきと満月を組み合わせた絵が多く残されています。

地域	お月見の習わしの例
各地の農村	収穫祭と合わせて月を祝う
都市部	月見だんごを飾り、家族で月をながめる

ポイント

- 地域によって、お供えの内容や行事の呼び方が少しずつちがいます。

やってみよう

1. あなたの地域のお月見の習わしを聞いてみよう。

書いて覚えよう

芋名月・豆名月

十五夜と十三夜には、それぞれ別の呼び名もあります。

芋名月

いもめいげつ / imo meigetsu

里いもを供える十五夜の別名

豆名月

まめめいげつ / mame meigetsu

豆を供える十三夜の別名

ポイント

- 里いもの収穫時期と重なることから、十五夜は芋名月ともよばれます。
- 豆や栗の収穫時期と重なることから、十三夜は豆名月・栗名月ともよばれます。

やってみよう

1. 里いもや豆を、お月見に食べたことがありますか。

書いて覚えよう

お月見を楽しむ場所や、味わう食べ物を見てみましょう。

空が開けていて、月がよく見える場所が好めます。

栗やぶどうなど秋の実り

- 月見だんごのほかにも、地域によってさまざまな食べ物が供えられます。

1. お月見のときに食べてみたいものを1つ書こう。

世界の月の話

月にまつわる話は、世界各地にもあります。

世界の月の話の例

中国には、月に住む仙女や、うさぎがきねをつく話が伝わっています。
国や地域によって、月の模様の見え方や、月にまつわる話はさまざまです。

ポイント

- 月を見て楽しむ文化は、世界の多くの国や地域にあります。
- 同じ月でも、文化によって感じ方や物語がちがうのは面白いことです。

やってみよう

1. 月にまつわる話を、他に知っていたら1つ書こう。

書いて覚えよう

お月見の楽しみ方

ここまで学んだお月見について、自分の思いをまとめましょう。

ポイント

- お月見は、特別な道具がなくても、空を見上げるだけで楽しめる行事です。
- 家族や友だちと過ごすことで、より楽しい時間になります。

やってみよう

1. 今年、お月見をするならどんなふうに楽しみたいですか。

ワンポイント 次のページからは、実際に見て、体験しながら、お月見についての理解を深めていきましょう。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

見て、お月見の文化をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

お月見の写真集・図鑑

博物館・資料館の展示

浮世絵などの美術作品

インターネットの動画

本物のすすきやだんご

実物を見ると、写真だけではわからない大きさや質感に気づけます。

ポイント

- 美術館や博物館では、月をえがいた作品に出会えることがあります。
- 家にある古い写真や道具も、立派な資料です。

やってみよう

1. 家や学校で、月やお月見を感じるものを1つさがして、絵か写真で記録しよう。
2. 印象に残った月の写真や絵を1つ書こう。

ワンポイント 大切な展示物にはさわれないことが多いので、注意書きをよく確認しましょう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験すると、お月見はもっと楽しくなります。

やってみよう

月見だんごづくり

すすきかざりづくり

月の観察

俳句づくり

お月見の絵をかく

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本やインターネットだけではわからない発見があります。
- だんごづくりで熱いものを使うときは、大人といっしょに行いましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験してみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

18

地域によるちがい

お月見には、地域によるちがいもたくさんあります。

共通すること

日本各地に見られる考え方

月を見て感謝する

実りへの感謝を表す

お供えをする

だんごや作物を供える

ちがうこと

地域によって形がちがうもの

お供えの内容

里いも・豆など地域で異なる

行事の呼び方

地域独自の呼び名がある

ポイント

- 「日本では必ず～する」と決めつけず、地域や家庭によるちがいを大切にしましょう。
- 地域ごとの独自のお月見の習わしにも目を向けてみましょう。

やってみよう

- あなたの地域ならではのお月見の習わしを1つ書こう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

お月見の過ごし方は、時代とともに少しずつ変わってきました。

昔

以前の暮らし

月明かりを頼りに過ごす

電気のない夜、月がたよりだった

家族総出でお供え

収穫した作物を供えた

今

今の暮らし

照明の中で月を楽しむ

街の明かりの中でも月を探す

お店でだんごを用意

昔ながらの手作りも人気

ポイント

- 形が変わっても、月を大切に思う気持ちは受け継がれていることが多いです。

やってみよう

1. 家族に、昔と今のお月見で変わったと感じることを聞いてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

お月見について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. お月見はいつも満月の日に行いますか？

A. 十五夜は満月に近い日ですが、必ずしも満月と重なるとはかぎりません。

Q. お供えものは食べてもいいのですか？

A. お供えのあとに、家族でいただくことが多いです。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

やってみよう

1. お月見について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

- 月を見る場所では、静かに、まわりの人への配慮を大切にしましょう。
- お供えものをいただくときは、家の習わしにしたがいましょう。
- 夜に外へ出るときは、大人といっしょに、安全な場所で楽しみましょう。

ワンポイント 暗い場所での月の観察は、足もとに気をつけましょう。

1. お月見をするときに気をつけたいことを1つ書こう。

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

お月見のことば

☐ 十五夜

旧暦8月15日の夜に見る月

☐ 中秋の名月

もっとも美しいとされる秋の満月

☐ 月見だんご

満月に見立てて供える丸いだんご

月と暮らし

☐ すすき

稲穂に見立てて供える秋の植物

☐ 満ち欠け

月の形が変わっていくこと

☐ 芋名月

里いもを供える十五夜の別名

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、お月見がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|----------------------|
| 十五夜 | ● | ● ア. 旧暦9月13日の夜に見る月 |
| 十三夜 | ● | ● イ. 旧暦8月15日の夜に見る月 |
| 月見だんご | ● | ● ウ. 稲穂に見立てて供える秋の植物 |
| すすき | ● | ● エ. 里いもを供える十五夜の別名 |
| 芋名月 | ● | ● オ. 満月に見立てて供える丸いだんご |

2. 正しいほうに○をつけよう

- お月見は毎年同じ日にちに行われる → (正しい / まちがい)
- 月にうさぎがいるという言い伝えがある → (正しい / まちがい)

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------|
| ☐ | お月見がいつ行われるか説明できる | 十五夜・十三夜 |
| ☐ | 月見だんごやすすきの意味を言える | お供えの意味 |
| ☐ | 地域によるお月見のちがいを説明できる | 多様性への理解 |
| ☐ | お月見について体験を1つした | だんごづくり・月の観察など |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

100%

© 2010 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

© 2010 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

© 2013 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

伝えたいお月見の文化 月見だんご／由来や意味 満月に見立てて供える丸いだんご／自分が感じたこと 毎年家族でだんごを作るのが楽しみ／聞いてみたいこと 外国にも月を見る行事があるか

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

英語で紹介してみよう

お月見を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

中秋の名月

harvest moon

もっとも美しいとされる秋の満月

月見だんご

moon-viewing dumplings

満月に見立てて供える丸いだんご

Emma

お月見を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

難しいことばより、意味を簡単に伝えることを大切にしているよ。

ポイント

- すべてを英語に直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

1. 紹介したいお月見の文化を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

お月見の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

お月見や月の本を借りる

博物館へ

月をえがいた作品を見に行く

動画で

月の観察や行事の映像を見る

次に学びたいテーマ

年中行事

1年を通した行事のひみつ

和菓子

季節を表すお菓子の文化

神話と伝説など

月にまつわる物語をくわしく

ポイント

- この教材の次は、他の年中行事や、月にまつわる神話をさらにくわしく学んでいくのもおすすめです。

書いて覚えよう

夜空に見える**月の形**を1つ確かめる

家族に**昔のお月見**について質問する

お月見の文化を**友だちや家族に紹介する**

L28 十五夜→イ 十三夜→ア 月見だんご→オ すすき→ウ 芋名月→エ 2. まちがい / 正しい

L33 (例) お月見とは、秋の美しい月をながめ、実りへの感謝と
願いをこめる、日本に伝わる行事のこと。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。